

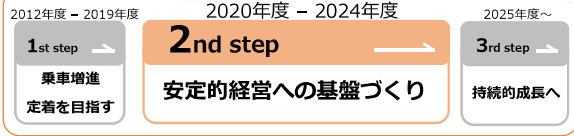


経営理念

使命

人と街を結び、人と人を結び、人に優しい県内唯一の軌道系公共交通としての使命を果たす。

新中長期経営計画の位置づけ



具体的な取組

1 安全性向上の取組み強化

- ▶ 安全体制の強化
- ▶ 運行管理の強化
- ▶ 施設の安全対策
- ▶ 車両の安全対策
- ▶ BCPの策定
- ▶ 車両からの脱出シューター検討
- ▶ 車両前面貫通扉構造の変更
- ▶ 車両SIV 2重化

2 魅力あるサービスの提供

- ▶ 3両化
- ▶ ホーム・構内放送の多言語化
- ▶ トイレの洋式化
- ▶ ホームドア改修
- ▶ 固定スロープの設置

3 人材の育成と組織の強化

- ▶ 階層別教育の強化
- ▶ サービス向上のための教育の充実
- ▶ 人事評価制度の導入
- ▶ システム導入による駅業務の負担軽減
- ▶ OJTの実施
- ▶ ジョブローテーションの実施
- ▶ 他社等との交流

4 新規事業

- ▶ 新規事業参入への検討
- ▶ 駅・車内等の清掃業務
- ▶ 各設備の保守整備作業
- ▶ 広告業務等
- ▶ 施設の営繕業務の内製化
- ▶ 手荷物預かりサービスの立ち上げ

5 財務基盤の強化

- ▶ DESの実施
- ▶ 債務超過の解消に向けた取組み
- ▶ 安定した経営利益の確保
- ▶ 累計損失の解消、健全な財務体質づくりに向けて
- ▶ 生産性向上への取り組み
- ▶ デジタル推進
- ▶ DDS・増資の実施
- ▶ 資金繰りの安定化に向けた施策

BCPの策定



3両化

- 【今後】
- ・沿線開発による乗客数増加
  - ・新型コロナウイルス感染症から回復後の乗客数増
  - ・県外観光客及びインバウンド観光客の増加

更なる混雑の増加が見込まれる

輸送力増強として3両編成にすることで、混雑の緩和を図る



財務基盤の強化

2020年度、新型コロナウイルス感染症の影響により、損益状況が悪化したことにより対策を実施。

財務状況改善の取組

- ・令和2年度、借入金の返済元金の全額を返済猶予
- ・令和3年度、4年度、借入金の返済元金の一部を返済猶予
- ・令和3年度から令和7年度まで、借入金一部の金利減免

収支表（2020年度—2024年度）

(単位：百万円)

項目	実績	中長期経営計画期間			
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
1日あたり輸送人員（人/日）	30,044	38,000	44,300	50,600	56,900
売上高	2,329	2,960	3,487	4,152	4,671
営業費用	3,611	3,906	4,097	4,281	4,516
経常損益	-1,376	-990	-660	-188	94
当期純利益	-1,380	-995	-664	-422	71
純資産合計	-28	-1,141	-1,805	-2,227	-2,156
EBITDA（営業利益+減価償却費）	-88	291	638	1,210	1,534
現預金残高	3,045	3,098	2,826	2,714	2,263

設備投資計画（2020年度—2040年度）



アクションプラン（2021年度—2024年度）

取組み	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
安全	BCP策定	●（作成）			
	脱出シューター検討		2編成●	2編成●	
	前面貫通扉構造の変更	●新造車両より随時変更			
	車両SIV 2重化		2編成●	2編成●	
サービス	3両化（運営基地の建設）				
	3両化（車両の新造・改造）		2編成●	2編成●	
	トイレの洋式化	●毎年度数駅実施予定			
ホームドア改修・固定スロープ設置			●		
人材育成	人事評価制度の導入	●			
財務	財務基盤の強化	●（検討）			